

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ふれあい町づくり 大日堂
事業主体 (連絡先)	沢村町会 松本市沢村 1-4-23 TEL 0263-32-9785
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	532,060 円 (うち支援金: 373,000 円)

事業内容

1. 沢村音頭の復活と広がり
「沢村音頭」は沢村で作られ歌われ振付された伝承踊りであるが、この踊りを沢村のみならず広域で定着するよう写真の白金納涼祭そして「城北公民館のふれ愛祭り」で披露した。
2. 大日堂道祖神和英文紹介案内板の作成、大日堂史跡案内支柱の作成、文化財を観光資源と考え、昨年引き続き新たな発想で対応した。伝承文化を継続していくには勉強会を開き子供達に理解してもらう必要がある。理解しやすい紙芝居も取り入れ実施した。
3. 講演会
今年は「環境保全」と昨年からのシリーズ「文化財」に関する講演会を実施、身近な町内にある文化財に興味を持ってもらう事と環境保全について学んだ。
4. 焼き芋会と新蕎麦を食する会
子供達に榎の落ち葉を拾ってもらい自然の恵みに感謝焼き芋会と保護者への新蕎麦を食する会の実施。



【広域で沢村音頭の披露】



【大日堂道祖神案案内作成】

【目標・ねらい】

- ① 総活躍町会を目指す
- ② 広域で町会運営の相乗効果を図る
- ③ 高齢者と子供達の交流
- ④ 住んで良かった沢村

※自己評価【 A 】

【理由】

1. 町会が変わってきたという手応えを感じとる事ができた。
2. 地域のお宝をより多くの人に披露できた。

事業効果

1. 沢村音頭の復活と広がり
子供会のラジオ体操終了後、「沢村音頭」の練習による裾野の広がり、1年前倒しで、「城北公民館のふれあい祭り」で披露、地域の絆が一段と深まった。
2. 道祖神英文案内板、史跡案内支柱作成、子供達への文化財勉強会を実施、文化財は観光資源であると考え。子供達の育成は将来の大きな力となった。
3. 講演会
住んで良かった町「沢村」を感じ取ることができた。
4. 焼き芋会と新蕎麦を食する会
子供達の喜び発想は町会運営に良い影響を与える。

今後の取り組み

昨年に引き続き、高齢化がもたらす町会役員のみが運営する町会から脱却し、町会全体で担う総活躍町会を目指し、広域で補完し合う相乗効果を目標とする。町会運営が厳しくなるなか子供から高齢者まで楽しめる生き生きとした町会運営を心掛けていく。